

小児がん経験者は晩期合併症をかかりつけ医に診て戴きたい！

～ 小児がん専門医とかかりつけ医の連携による
小児がん経験者長期フォローアップ推進とネットワーク作りのために ～

小児がんは、この 30～40 年でよく治るようになりました。現在の最高齢は 50 歳台です。

若年成人の約 700 人に一人は小児がん経験者と推定されます。

時間がたってみると、いろいろな合併症が出て来ているのです。主な晩期合併症は、認知機能障害、肥満、高脂血症、高血圧、糖尿病、内分泌機能障害、二次がんなどです。

小児がん経験者をずっと診ていけるのは、すべてを診てもらえるかかりつけ医です。

小児がん専門医と連携を取りつつ、小児がん経験者のかかりつけ医になって戴けませんか？

そのようなネットワークの構築もめざしたいと存じます。

「小児がん経験者晩期合併症勉強会」を開催します

(日本医師会生涯教育制度認定講座)

日時 9月5日(木)19時半から21時

場所 千葉大学医学部附属病院外来診療A棟3階セミナー室1

軽食をご用意しますので、**9月2日(月)**までにご連絡ください。

連絡先: fumi_a_i@qf7.so-net.ne.jp あるいは iokimuf@gmail.com

講演Ⅰ：小児がん経験者の晩期合併症

総論および小児がん経験者が望むこと(全国小児がん経験者のアンケート調査から)

寺田和樹 先生 (成田赤十字病院小児血液腫瘍科)

講演Ⅱ：症例から学ぶ

沖本由理 先生 (千葉県こども病院血液腫瘍科)

主催：認定 NPO 法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ

後援：千葉大学医学部内分泌代謝血液老年内科学・千葉大学医学部小児病態学

千葉県医師会・千葉市医師会・船橋市医師会・千葉県糖尿病対策推進会議・NPO 小象の会